

共同デスク 6号 (2月7日)

東京国公だより 23号

関ブロニュース 18号

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

[office@tk-kokko.org](mailto:office@tk-kokko.org)

URL : <http://tk-kokko.org/>



県国公議長、県労連議長として大奮闘の上野光正氏↑  
(2月1日に開催された山梨県国公春闘討論集会から)



← 山梨の県花フジザクラ



← 春闘情勢と国公の課題  
に関わって講演する中本  
国公労連中執

2月1日、全構成単組  
が結集し、山梨県国公の  
17春闘討論集会が開催

各県国公が春闘本格スタート  
山梨県労の要として頑張る山梨県国公

されました。

## 民間の仲間と 共同して闘う 旺盛な論議を

(上野議長)

冒頭挨拶に立った上野光正山梨県国公議長は、17春闘にふれて、「電



通の過労自殺に象徴される異常な長時間労働や、年収200万円にも満たないワーキングプアー増大の問題は決して他人ごとではない」と述べつつ、国公の職場で起こっている人員不足による長時間残業や、実質賃下げが続く事態を打開しようと呼びかけました。

上野氏は、(人事院報告にもとづかない)7・8%の賃下げという一方的不利益変更は民間ではありえないとして、賃下げ違憲訴訟を何としても勝利しようと呼びかけました。

最賃制度を今春闘で実現しようと呼びかけました。賃金引き上げの問題でも定員を増やす問題でも、国民の支持が大事であることを強調し、民間の仲間と共同して闘う旺盛な議論呼びかけました。

### 県議会で増員決議を 勝ち取った法務の仲間などから報告

討論では国土交通、全法務、全司法、全労働、全医労から闘いの報告と、官民共同の闘いへの決意が述べられました。全法務の仲間からは、毎年続く定員削減をこれ以上許さない固い決意の下、県議会各会派へ

の要請を繰り返し、法務職員の増員を求める決議を勝ち取るという快挙の報告があり、大きな拍手に包まれました。

### 国公労連の「国民の中心へ」の方針実践を確認し閉会

国公労連の中本中執からは、17春闘をめぐる情勢と国公労働者の課題、方針を提起する講演がありました。これらを受けて、山梨県労に結集しつつ、全労働者、県民、国民の課題を共に闘う中で、国公労働者の要求への理解を広げてそれを実現するとの方針を確認し閉会しました。定数削減で業務多忙で休暇もままならず、専

従者配置なしという困難な中でも、しっかりと団結し、山梨県労の要として奮闘する山梨県国公の闘いは大変教訓的でした。(植松関プロ事務局長の取材報告)

### 山梨県国公の春闘期の主な行動

- 2月6日 69行動(核兵器廃絶署名・宣伝)
- 2月9日 9の日宣伝
- 2月15日 デイセントワーク宣伝
- 2月19日 春闘決起集会&パレード
- 2月24日 定例社保宣伝、定例消費税宣伝
- 3月6日 69宣伝
- 3月8日 中央春闘決起集会への参加
- 3月19日 山梨県春闘要求実現決起集